

第3回NUDAサロン(さっぽろ雪まつりでのワークショップ)の「気付き」の精査から得られた
09年度NUDA会員参加型プロジェクト

報告書



募集時の趣旨説明

UD(ユニバーサルデザイン)の考え方に
基づき、地域社会や生活を見つめ直す
活動は、全国・全世界的に行なわれてい
ます。私たちNUDAは「北方」という地域
固有の問題を抱えていますが、その問
題意識は、北方ならではの視点からの
問題解決、改善案を生み出す可能性を
秘めています。

身近な問題解決を含め、北方ならではの
提案を共に生み出しませんか？

テ
ー
マ
か
ら

共
に
考
え
ま
せ
ん
か
？

2009年の雪まつりにて、4ユーザ毎の気づきを収集

テーマ

雪まつり会場での「気づき発見」

「第60回さっぽろ雪まつり」会場をフィールドに、ユニバーサルデザイン的な改善提案を目的とした問題点の発見(気づき)をします

気づきの対象

寒冷地(環境・道具・情報・サービス)

雪像鑑賞／サービス／寒冷地堪能
路面／公共施設／プロダクト
サイン／購買／飲食

本ワークショップの特徴

「対話実践型」ワークショップ

ユーザと参加者が課題を共有し新たな発想をする

視覚障がい者ユーザ(菊地様)

聴覚障がい者ユーザ(小山様)

下肢障がい者ユーザ(山崎様)

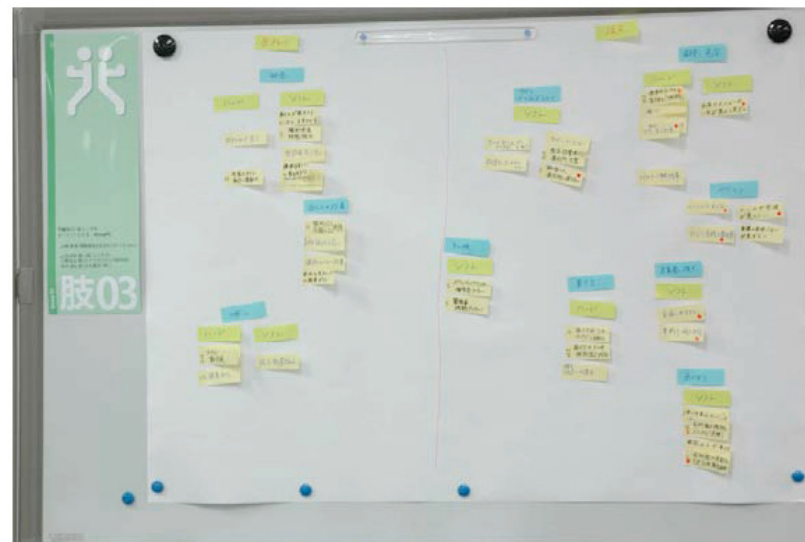
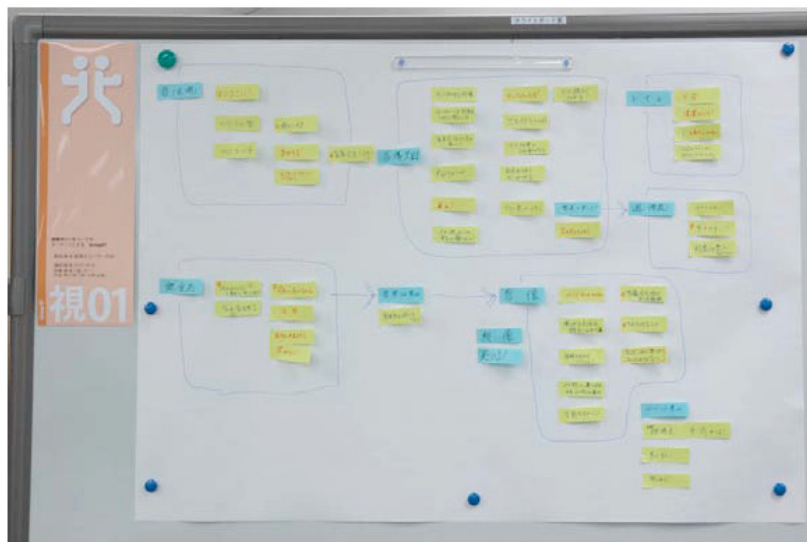
外国人ユーザ(ディッキー様)

NUDA会員、学生

フィールド



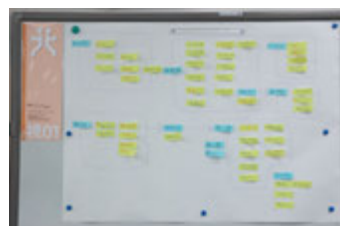
2009年の雪まつりにて得られた気づき



「気づき」からの出発



第60回さっぽろ雪まつり会場での「気づき発見ワークショップ」



視覚障がい者ユーザをターゲットとした気づきキーワード

盲導犬
 音(会場)
 道(雪道)

・テーマ例 1 (視覚)

「聴覚で楽しむ」「盲導犬とユーザの安全確保」
 ex.→視覚障がい者の冬のイベントの楽しみ方の発見

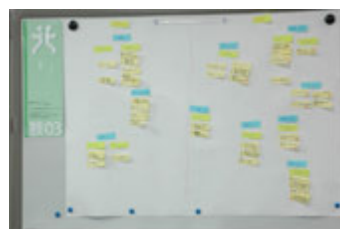


聴覚障がい者ユーザをターゲットとした気づきキーワード

視覚情報
 車の接近
 建物外観

・テーマ例 2 (聴覚)

「危険察知力低下」「イベント内 視覚情報伝達強化」
 ex.→視覚的認知力を高めるイベント内色彩計画



下肢障がい者ユーザをターゲットとした気づきキーワード

足まわり
 視点
 段差

・テーマ例 3 (下肢)

「段差・視点問題の解決」
 ex.→下肢障がい者の為の雪道走行装具



外国人ユーザをターゲットとした気づきキーワード

文化
 物語
 案内(言語)

・テーマ例 4 (外国人)

「サイン認知／情報取得問題への対応」
 ex.→文化背景を考慮したイベント内サイン

- テーマ -

冬期屋外イベント の様々な問題解決

～「さっぽろ雪まつり」での検証を想定して～

- 目標 -

半年間での改善策 発想と企画書作成

～ 継続的な、検討・検証の為にキックオフ活動～



第61回さっぽろ雪まつりの時期に
企画の披露、あわよくば検証

- 参加者の役割 -

学生

- ・基本的に本プロジェクトは「学生」が中心となって進める。

管理補助

- ・「管理補助」者が随時、指導・進み具合のチェックを行なう。

補助

- ・問題発生時の対応や具体的な事例紹介などを「補助」者が担当する。

オブザーバ

- ・本プロジェクトは、オンラインコミュニケーションを多用するが、「オブザーバ」には、随時メール報告（cc.）し、なんらかのコメントを頂く。（Face to Face の打ち合わせを行なう際には、可能であればご出席頂く。）

2つのグループで活動を開始

下肢グループ

公共グループ

オンラインを活用した活動

メールや専用WebSite を利用した柔軟な活動

NUDA 北のユニバーサルデザイン協議会 2009年度会員参加型プロジェクト 特設サイト

<http://www.kakiyama.info/nuda/pj/>

[nuda](#)
[カテゴリー](#)
[scu](#)
[Yahoo](#)
[kaki](#)
[札幌](#)
[Flash](#)
[講義](#)
[学会](#)
[成果](#)
[ツール](#)
[研究](#)
[プログラム](#)
[ekibus navi](#)
[帰る](#)


NUDA 北のユニバーサルデザイン協議会
 Northern Universal Design Association

2009年度会員参加型プロジェクト特設サイト

このサイトは、会員参加型プロジェクトにご参加頂いている方のみに限定して公開するものです。（本ページが存在を、関係者以外へ知らせることは、お控えください。）共有できそうな資料を掲示しますので、各自、ダウンロードの上、ご活用ください。共有すべき情報や、資料などございましたら、柿山までお送りください。このサイトに掲載させていただきます。

管理補助担当：柿山

■ 今後のスケジュール <<NEW !!

デザインウイークの以下の日程にて、中間報告的なお披露目を行います。
対象とする聞き手は「会員・一般の聴衆者に、行政関係者を加える予定」

UDフォーラム2009概要

場所：札幌市立大学 サテライトキャンパス
日時：2009年10月28日（水）13:00～16:00

[>>詳細情報【PDF 約1.3MB】はこちら](#)

本参加型プロジェクトの報告は、上記UDフォーラム内の15時～「北のUDを考える 意見交換会」で実施

[>>詳細情報【PDF 約188KB】はこちら](#)




活動履歴

091005 <<NEW !!
公共グループの活動方針をまとめました。[【報告書 DOC 約32KB】](#)

091006
下肢グループの打ち合わせを行ないました。[【報告書 DOC 約32KB】](#)

090909
下肢グループの打ち合わせを行ないました。[【報告書 DOC 約30KB】](#)

090826
公共グループの顔合わせ会を実施しました。[【報告書 DOC 約30KB】](#)

090821
下肢グループの顔合わせ会を実施しました。[【報告書 DOC 約30KB】](#)

■ 2008年度 サンプル集作り 会場写真（左）（柿山撮影）

中間報告発表会の実施

2009 年 10 月 28 日

ユニバーサルデザインフォーラム

2009 内の「北の UD を考える」

セッション内において、学生からの
口頭発表形式で中間発表会を実施。

ユニバーサルデザインを体験するひととき 参加者募集

体験 1 「車いす体験」

手動車いす(5台を予定)にて、札幌市立大学サテライトキャンパス内を移動し「車いすユーザ」と「介護者」を体験します。体験前に、講師(ボランティア研修センター様より派遣)から、注意事項や操作・介護のコツを説明して頂きます。



体験 2 「高齢者体験」

疑似道具(7セットを予定)を身にまとい「高齢者」を体験します。体験前に、道具の取扱いである特殊衣料機より、着脱方法や各体験に際した注意点を説明して頂きます。



意見交換 「北のUDを考える」

本年度、NUDA会員の有志が参加して活動している「会員参加型プロジェクト」の現状報告を行います。本報告内容を往々に、北のUDを参加者全員で考えてみたいと思います。



ユニバーサルデザインフォーラム 2009


NUDA 北のユニバーサルデザイン協議会 主催
 Northern Universal Design Association



本デザインフォーラムは
札幌デザインウィーク内の
イベントです。

日時：
 2009年10月28日(水)
 13:00～16:00

13:00 開会の挨拶
 NUDA活動紹介
 13:15 第1部「車いす・高齢者疑似体験セミナー」
 (1)車いす体験
 (2)高齢者疑似体験
 14:50 休憩
 15:00 第2部「北のUDを考えるセッション」
 (1)NUDA参加型プロジェクト現状報告
 (2)意見交換会
 15:55 閉会の挨拶(児玉理事長)
 16:00 終了

会場：
 札幌市立大学
 サテライトキャンパス
札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命札幌ビル5階



事前参加申し込み、お問い合わせ

NUDA事務局：札幌市西区琴似2条4丁目1-24 ヤマチビル 札幌オフィスブレイス内
 Tel. 011-640-7770 / Fax. 011-640-7771 / E-mail: nuda@hotmail.co.jp

* 当日参加も可能ですが、極力事前の参加申し込みをお願い致します。

【同時開催イベント】

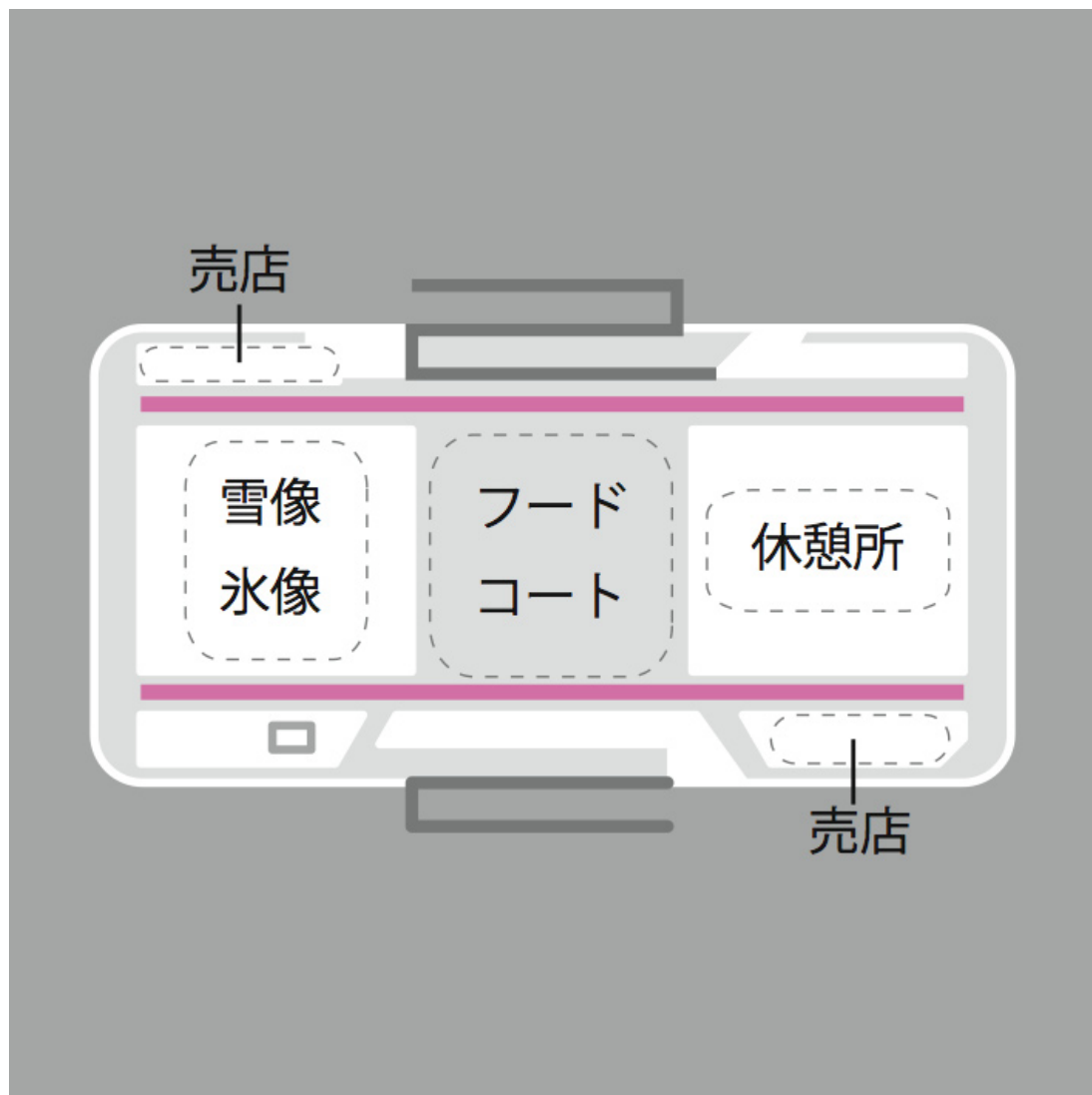
ユニバーサルデザインのステーションナリーを探そう！

デザインウィーク期間中、大丸藤井セントラルでユニバーサルデザインステーションナリーを探し当てる店内探索イベントを開催。ぜひ、ご参加ください。

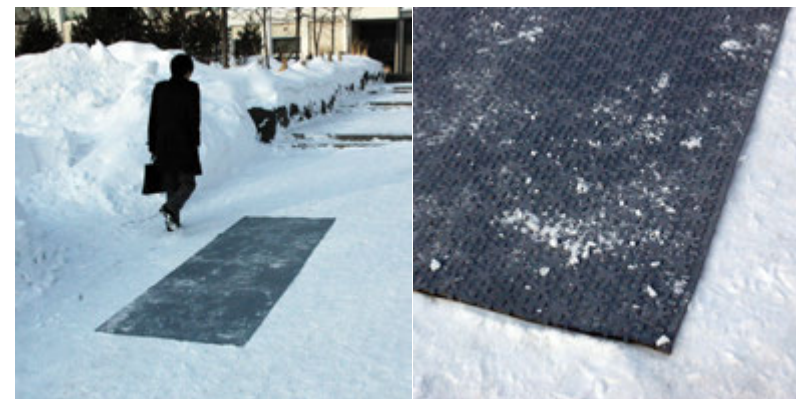
日時：10月28日(水)～11月3日(火・祝) 10:00～19:00
 会場：大丸藤井セントラル 2階フロアー(中央区南1条西3丁目)
 主催：大丸藤井株式会社(NUDA会員企業)

※ 本報内の写真は、活動のイメージ写真です。

学生からの提案 1【ゴムマット】



＊協力：「株式会社ミツウマ」様



ゴムマットの仕様



×

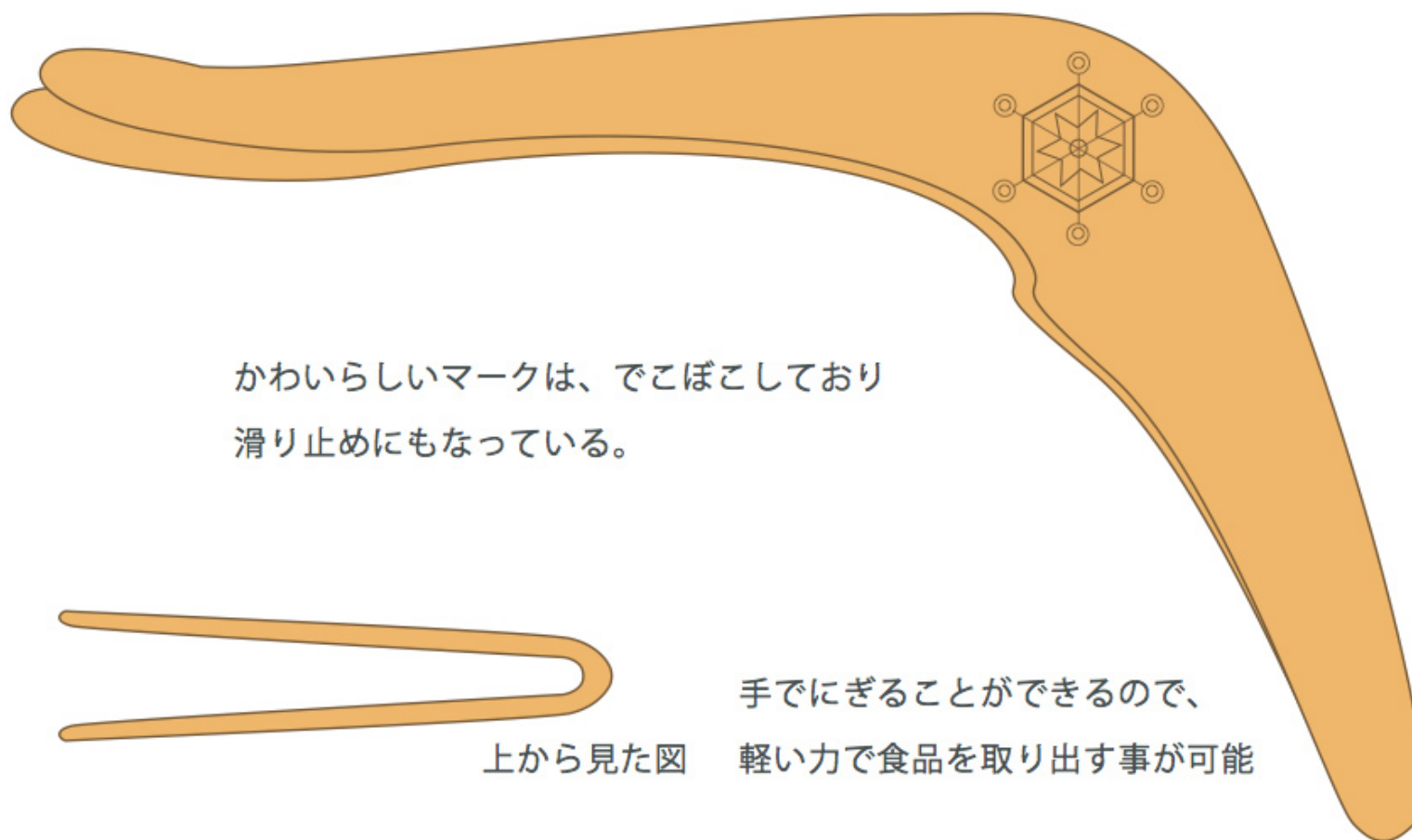
600枚

＝

￥12,900,000

学生からの提案 2【竹の箸トング】

竹の箸トング



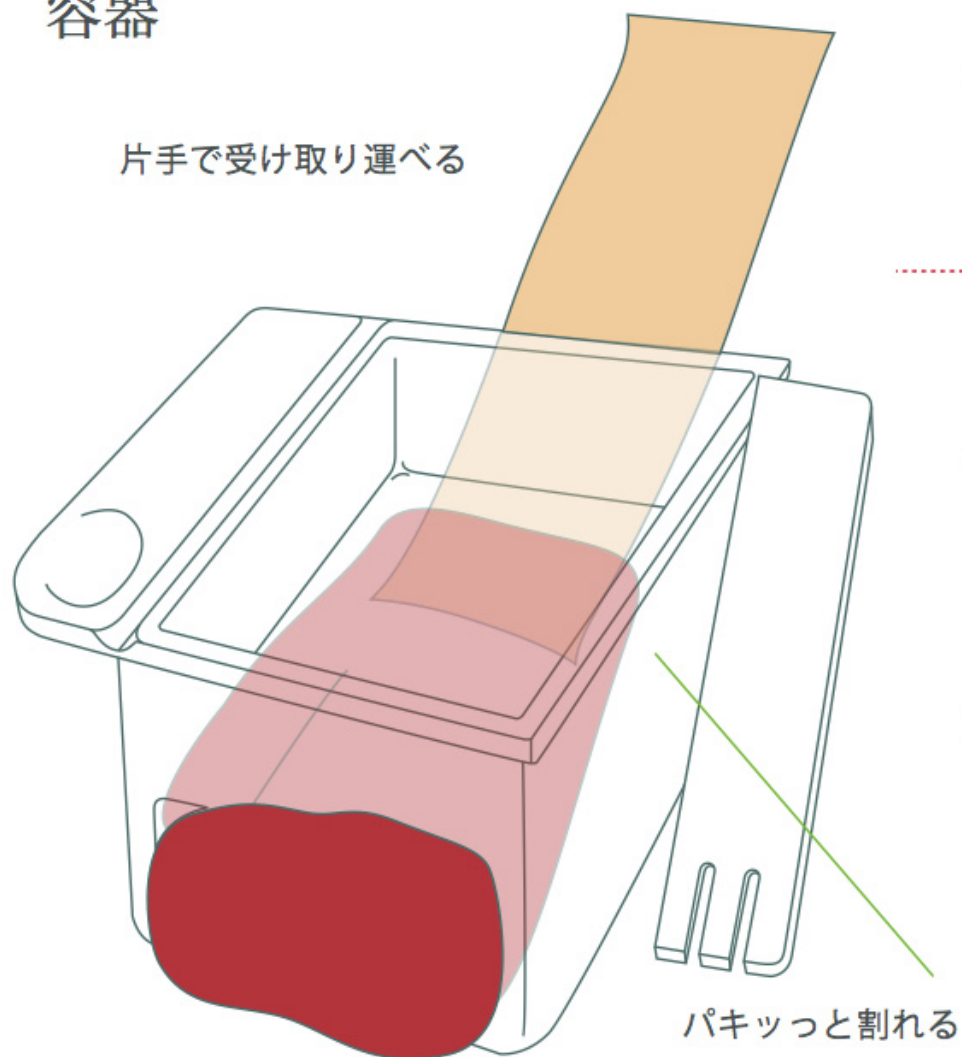
かわいらしいマークは、でこぼこしており
滑り止めにもなっている。

上から見た図

手でにぎることができるので、
軽い力で食品を取り出す事が可能

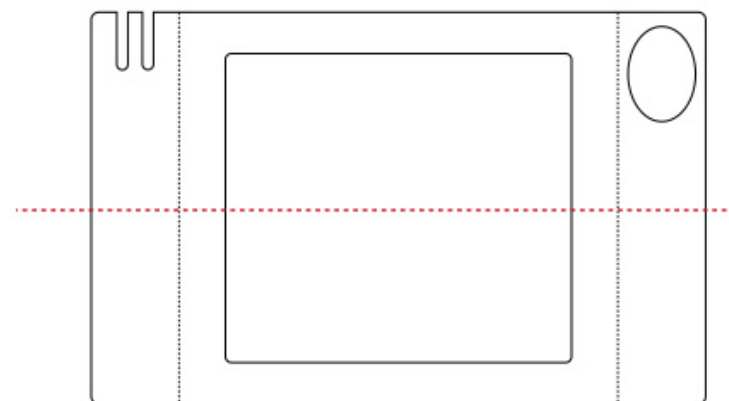
学生からの提案 3【冬期の屋外利用を想定した容器】

容器

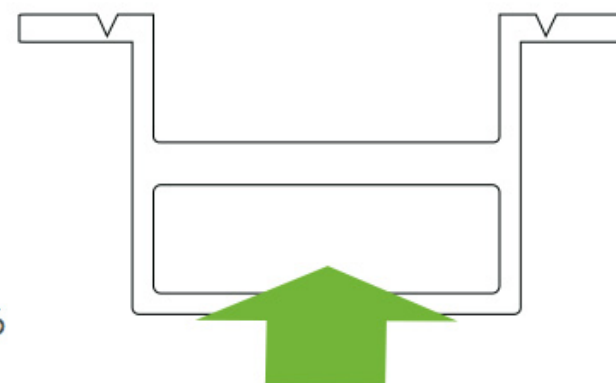


切り口で手を
切らない構造

食べ物の熱で手も あたたか



平面図

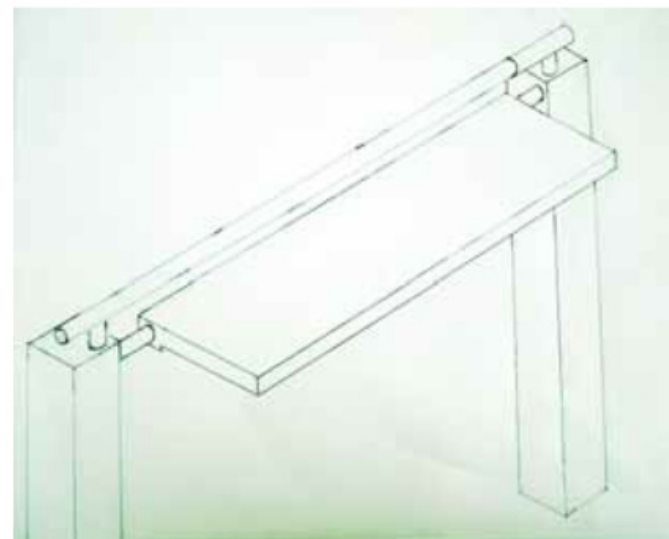
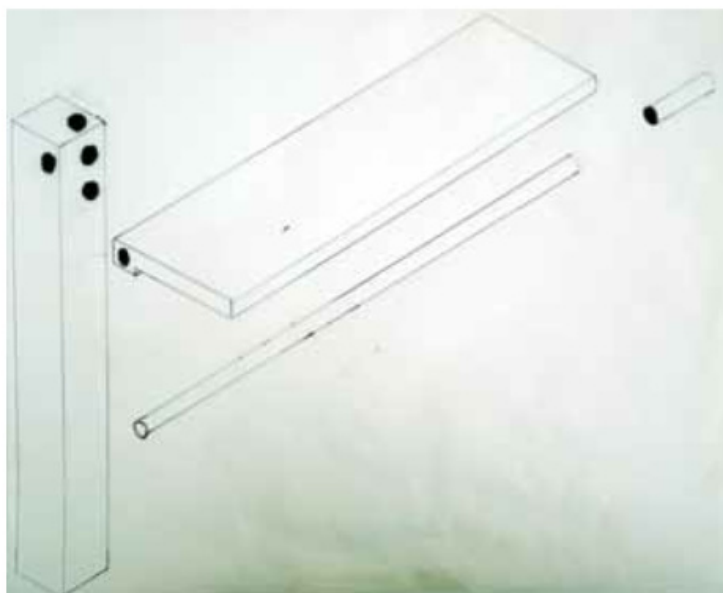


手を入れる

断面図

学生からの提案 4【椅子・可動式手すり】

椅子になる可動式手すり



ポイントとした主な問題点：

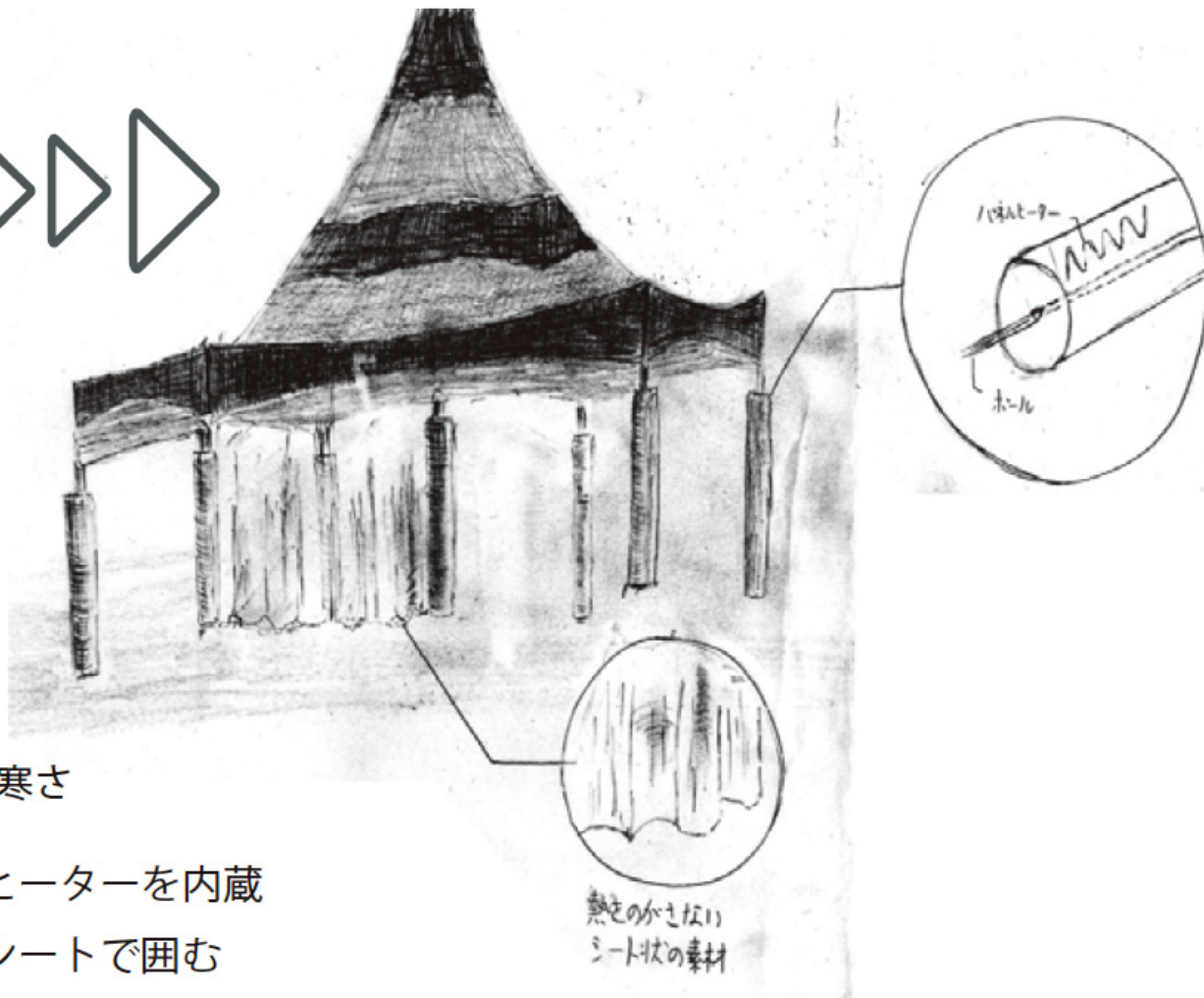
足場の悪さ、食事スペースの足りなさ

主な特徴：

- ・ 歩行のサポート、混雑の緩和
- ・ 混雑時、臨時の食事スペースとして利用

学生からの提案5【テント】

食事をするテントの改善



ポイントとした主な問題点：寒さ

主な特徴：

- ・支柱にパネルヒーターを内蔵
- ・熱を逃さないシートで囲む

学生からの提案 6

【外国語メニュー】

ブラッシュアップ案 ▶

2009 年 10 月提案 ▼

味の北向～ azi no kitamuki ～

food menu



たらば鉄砲汁 1,000yen
「taraba teppouziru」= king crab soup



ラーメン 900yen
「ramen」= chinese noodle



じゃがバター 500yen
「jaga batar」= butter poteto



黒豚ステーキ 800yen
「kurobuta steak」= black pig steak



極上カルビ 800yen
「gokuzyou karubi」= the best galbi



おいしいササミ 800yen
「oisii sasami」= breast meat

drink menu



日本酒 600yen
「nihonsyu」= ehake



生ビール 500yen
「nama beer」= draft beer



オレンジジュース 200yen
「orange juice」= orange juice



りんごジュース 200yen
「ringo juice」= apple juice



緑茶 200yen
「ryokutya」= green tea

	卵	Egg	계란	雞蛋
	牛肉	Beef	쇠고기	牛肉
	豚肉	Pork	돼지고기	豬肉
	鶏肉	Chicken	닭고기	雞肉
	小麦	Wheat	밀	小麥



たらば鉄砲汁

Crab miso soup
蟹醬湯
게 된장국

800 円



ラーメン

Ramen
嘩鬼拉麵
라면

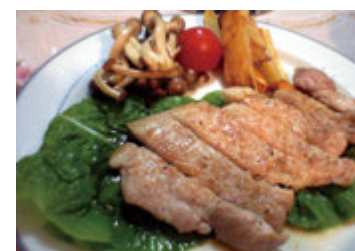
900 円



じゃがバター

Butter potatoes
黄油土豆
감자 버터

500 円



黒豚ステーキ

Black pork steak
黑猪肉牛排
흑돼지 스테이크

800 円



大豆
Soybeans
大豆
간장

小麦
Wheat
小麦
밀

卵
Eggs
雞蛋
계란

乳製品
Dairy
乳製品
생할 음품

豚肉
Pork
豬肉
돼지고기

2010年の雪まつりでの提案評価WSの参加者募集

学生の提案を、
現場でのWSにて検証

ワークショップ参加者募集

NUDA 北のユニバーサルデザイン協議会 主催
Northern Universal Design Association

雪まつり会場における 参加型プロジェクトの 企画提案評価ワークショップ ～4ユーザ視点からみた提案評価～

日時：2010年2月11日(木) 13時～17時

会場：札幌市立大学 サテライトキャンパス
＋
札幌市 大通公園(第61回さっぽろ雪まつり会場)

ワークショップ概要

●テーマ

現提案のブラッシュアップとリアリティの追求

「第61回さっぽろ雪まつり」会場にて、
現在NUDAが保有している提案に関する
問題点／改善点の発見をおこなう。

●評価提案の対象

雪まつりを楽しむ為の○○

ゴムマット路面／竹の箸トン／食器
テント／椅子・可動式手摺／
外国語メニュー

●本ワークショップの特徴

4ユーザ視点での評価ワークショップ

本ワークショップの参加者は、
右記の4ユーザの視点で
各提案を評価し、コメント
(問題点・改善案・意見等)を
出し合います。

視覚障がい者
聴覚障がい者
下肢障がい者
外国人ユーザ

●フィールド



●スケジュール (予定)

13:00～13:50 【サテライトキャンパス】
オリエンテーション
評価対象案の解説
13:50～15:40 【雪まつり会場(4丁目～5丁目)】
フィールド調査
15:40～17:00 【サテライトキャンパス】
調査結果の集約
調査結果の報告

お申込み：

お申し込みは下記のメール、またはお電話にてお申し込みください。
(お電話の場合は、土、日、祝日はお受けできません。メールをご利用ください。)

NUDA事務局：札幌市西区寿館2条4丁目1-24 ヤマチビル 札幌オフィス内
Tel：011-640-7770 fax：011-640-7771 e-mail：nuda@hotmail.co.jp

お申し込みいただいた個人情報は、参加者名簿と、参加にあたっての事務局の連絡・情報公開のために
使用いたします。それ以外の目的での利用は行いません。

WSの内容に関するお問合わせ：

札幌市立大学 デザイン学部内 事務局 (担当：柿山)

TEL：011-592-5491
E-mail：kakiyama@scu.ac.jp

2010年の雪まつりでの提案評価

雪まつり会場における 参加型プロジェクトの 企画提案評価ワークショップ ～4ユーザ視点からみた提案評価～

日時：2010年2月11日(木) 13時～17時

会場：札幌市立大学 サテライトキャンパス

+

札幌市 大通公園(第61回さっぽろ雪まつり会場)

2010年の雪まつりでの提案評価WSの様子



2010年の雪まつりでの提案評価WSの成果



2009年度 参加型プロジェクトの成果(最終提案)

雪まつり参加型プロジェクト 最終提案 作成日 4月1日 提案者：札幌市立大学デザイン学部2年 堀田直也

・2月11日発表時の提案の概要→椅子+手すりの形

ポイントにした問題点

- ・足場の悪さ
- ・食事スペースの不足

会場の混雑度に応じて使う用途を変化させる形を提案。

通路状に並べて設置することで歩行のサポート、

また人の歩く動線を明確にすることによる混雑の緩和を狙いとした。



図 2月11日発表時の提案

2月11日開催の企画提案評価ワークショップでの発表

・新たな気づきと反省→椅子+手すりの形は望ましくない

参加者（発表を見て）

- ・強度不足
→椅子としての耐久性を考慮したものと考えれば、臨時に置く形ではなく、通年を通して地中に埋め込む形が望ましい。だが、コスト的に難あり。

自分（会場を見て）

- ・通路が予想以上に狭い
→混雑の度合いに関わらず、通路に提案していたものを置くと邪魔になる
- ・通路の横にも雪像がある
→どこまでが通路と定義することが難しい
- ・食の広場はとても人が多い
→座ってくつろぐ場所は他のほうが良い

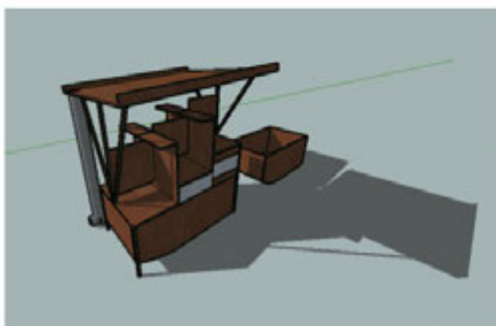
参加者（会場を見て）

- ・テーブルの数少ない
- ・テーブルの高さ一定
- ・ゴミを綺麗に集める工夫が必要

反省：中間発表の形は食の広場で活用できない

新たな気づき

・新たな気づきに対する新提案



イメージ1

~~椅子 + 手すり~~ → テーブル + ゴミ箱

・材質

主要部 : 木材

ゴミ投入口の蓋 : 軽量な金属

排水パイプ部 : プラスチック

・ポイント

1. テーブルの真下の蓋付きゴミ箱→ゴミ類を綺麗に隠す (+底の形をそりの形に工夫する→雪上でのゴミの回収が円滑におこなえる)

・使用法

食事が終わったらイメージ1の灰色の部分（軽い金属製で作成）を押して、食事容器などを捨ててもらふ。ゴミの回収は、後ろに付いている取っ手を引っ張り、テーブルの下からそり型のゴミ箱を引き出しおこなう。



イメージ2

2. テーブルの高さが調節可能 (60cm~100cm)

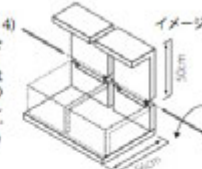
・使用法

テーブルは階段状に60,80,100cmの高さになっている（イメージ3）。低すぎる場合は、隣の人との仕切りになっている壁をイメージ4のように引き出すことで、20cmの高さを上げることが可能である。



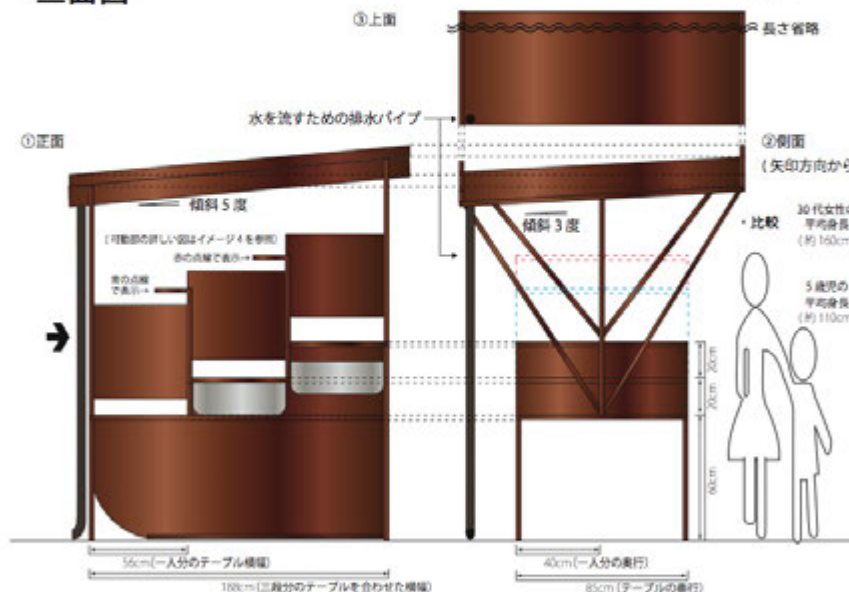
イメージ3

・補足（イメージ4）
可動部には軸を埋め込む。仕切りの長さは倒した時に隣の仕切りに衝突しないよう、机一人分の長さより短く設定。



イメージ4

・三面図



・提案の発展に向けて→

1. コスト計算
2. 不使用時の保管方法

1. 一枚の板からどのように部材を切り出すかなど、無駄なく材料を使い切る工夫の検討を続けていきたい。また、無駄が多い場合、サイズの微調整も視野に入れる必要がある。

2. テーブルの足をねじ式にして、取り外し可能にするなど、省スペースで収納できる工夫をより多く盛り込んでいきたい。

報告書

第3回NUDAサロン(さっぽろ雪まつりでのワークショップ)の「気付き」の精査から得られた
09年度NUDA会員参加型プロジェクト